

科目	都市経営論	担当	山田 正人	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位
<p>【授業目標・到達目標】 都市計画と都市施設の効率的な活用と冗長性(余裕)の扱い方において都市の経営はおおよそ決まる。前半に都市計画、後半に都市施設(交通)の計画を基礎として、少子高齢化の中で人を中心とする都市の経営について考え講義とする。都市の計画、経営における計画の意味や目標についてわかることを目標とする。</p> <p>【履修注意】 教職「情報」志望学生は、必修である。2年生を想定して講義をするが、3, 4年生も受講できる。授業中にはノートをとりなさい。(テストの折、自筆のみのノートについては持ち込みを認めている)</p> <p>【評価方法】 テストは、100点満点のうち、10点は受講した感想である。 授業時の平常点は、最大10点相当を充てて加点している。 講師の持ち点も、最大10点相当加点することがある。 テストは、少なくとも2回ある。期末テストの点数をもとに、中間試験の点数を考慮して決める。</p> <p>【試験について】 持ち込み物件: 自筆のみのノート 再テスト対象者: 4年生で、40点以上のものについては対象者として考えている。</p> <p>【予習・復習】 授業中にノートをとりなさい。(自筆のノートを作ることが復習にもなる)</p> <p>【教科書】 スライド(PPT)をWBTで配布する。</p> <p>【参考書】 配布印刷物が時折ある。</p> <p>【その他の注意事項】</p> <p>【授業計画・内容】 1-3 都市とは？(都市の衛生状態について考える) 1. はじめの都市計画 2. 古代の都市は計画されたのか 3. どこまでが計画されたのか 4-5 欧米の都市計画(産業と自由平等と衛生状態(人々の生活)) 4. フランス・ドイツの都市計画 5. アメリカ・イギリスの都市計画 6-7 日本の都市計画(上下水道はどこまで普及したか) 6. 中世までの都市計画 7. 近世(明治)から現代の都市計画 8 中間まとめ 8. 水は高いところから低いところへ流れる 9-11 東海市の総合計画について 9. 東海市の総合計画 10. 太田川駅の駅前で行われた事業 11. 文化創造プラン 12-15 交通の都市計画 12. 地先の道路幅員、小型道路の計画、ショッピングセンターの駐車場 13. 自転車道、歩道、緑道とコミュニティ道路 14. 公共交通の計画 15. 実習(町の絵・地図を書く) 16 期末テスト</p>					